

多々良川ゆめプラン事業2008	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成20年10月26日(日) 14:00~16:00
団体名：ふくおか湿地保全研究会	開催場所	東部水処理センター横河口部
行事名：10月定例清掃	参加人数	12名

今回のわくわく体験の概要：

最初に清掃するときの注意や、生息する希少種をのせたチラシを配布。

クロツラヘラサギを短時間観察し、ヨシ原の地形と植生を説明。

生きものを観察しながら約1時間ゴミ回収。

集荷し

て、写真撮影、記念品を配布して一旦解散。

希望者のみ鳥や植物の観察を30分ほど行った。

回収

したゴミ：可燃物32袋、不燃物10袋、120センチの鉄柱、トタンの看板、発砲スチロールの浮き、ポリペール45L、タイヤ、ルアー1個など。

参加者の感想：(3名程度)

- ・今回の場所は、ゴミの堆積がすごいのでびっくりした。放って置くとこんなに溜まっていくのだと思った。
- ・ゴミ容器を引っ張り出したらゴミが入っていて驚いた。護岸からの不法投棄は古いものばかりで、新しいゴミがないのはいいことだ。
- ・クロツラヘラサギをじっくり観れてよかった。

活動団体の感想：午前中雨が降って、清掃できるか心配しましたが、なんとかやれました。

そのため、参加者は少なめでした。

今回清掃した

場所は、河川管理者ではない誰かが勝手にヨシを刈り取った所で、普段では目に付かないヨシ原内のゴミが大量に露出していました。

一部は、堆積したゴミの下にはカニなどの生きものが多い場所でもあって、生き物にダメージを与えないよう、上部のゴミを拾うだけにしました。しかし、今後の課題も出てきました。

護岸近くの不法

投棄されたゴミは、花を咲かせた竹が枯れたため目に付くようになったものでした。缶類などボロボロで古いものでした。

はっきりしないお天気にもかかわらず参加したご褒美か、今シーズン初めてクロツラヘラサギが14羽とヘラサギ1羽と多数飛来してくれて、じっくり観察できました。カモ類やミサゴ、カワウ、サギ類で川は賑やかでした。紅葉したハママツナも見ごろでした。

